

書写通信

姫路工業大学
アメリカン
フットボール部
OB会報

TO OLD BLUE

2002

第11号[冬号]

2003年1月31日

編集責任者 田中 角栄
吹田市津雲台 3-2-A11-304

岡山大学の壁、破れず！！

順位	大学名 (勝-敗-分)	岡山大	姫工大	姫獨大	流科大	神院大	岡理大	勝敗 (勝-敗-分)
1	岡山大学		26-0	40-0	28-3	26-0	48-0	5-0-0
2	姫路工業大学	0-26		13-0	10-7	6-7	21-0	3-2-0
5	姫路獨協大学	0-40	0-13		0-19	20-0	8-15	1-4-0
4	流通科学大学	3-28	7-10	19-0		12-14	20-0	2-3-0
2	神戸学院大学	0-26	7-6	0-20	14-12		20-6	3-2-0
5	岡山理科大学	0-48	0-21	15-8	0-20	6-20		1-4-0

2002年 秋季リーグ戦星取表

ブルーライナーズは'97年、'99年と二度、Div との入れ替え戦に進出しましたが、いずれも岡山大学という壁に阻まれてきました。そして'02年のリーグ編成により、ブルーライナーズはその岡山大と同じリーグとなったことから、岡山大を破りDiv へ昇格することが今期の最大の目標となりました。

しかし、各チームが凌ぎを削るリーグ戦はそれほど甘くありませんでした。初戦の神戸学院大との試合では、終始押し続けながらも要所所でミスが続き、気が付けば1点ビハインドのまま試合終了となり黒星スタートとなりました。

なんとか勝利を勝ち取るため、もう一度気持ちを切り替え流通科学大との試合に望みました。開始早々のシリーズであっさりTouch Downを決め、ディフェンスもラインの力で圧倒しこのまま楽勝かと思われましたが、敵陣ゴール前でのファンブル、肝心なところでのタックルミスなどが続き、気が付けば7対7の同点のまま大4Q、最終シリーズで決勝点となる40ydフィールドゴールが成功し、何とか試合には勝てたものの、誰もが納得のできない勝利に試合後、笑顔を浮かべている者はいませんでした。

続く岡山理科大戦、姫路獨協大戦は、実力では

勝っており、快勝とはいえないものの確実に勝ち星を上げることができました。

そして、最終戦の岡山大との対戦に、選手全員の力を合わせ、自分たちが持っている全てを出しきろうと誓い、試合に挑みました。

開始序盤ブルーライナーズは、絶好のフィールドポジションからの攻撃するチャンスを得ましたが、インターセプト、フィールドゴール失敗と、結局得点を上げる事ができませんでした。そしてそこからは岡山大の力が徐々に発揮し始め、岡大陣深い位置にあったフィールドポジションが少しずつ前進し、第2Qにはついに先制点を許してしまいました。その後は岡山大の一方的な試合展開となり、気が付けば20点以上の差をひろげられて試合終了となってしまいました。

岡山大学はリーグ戦でTDを一本も許さず圧倒的な力で優勝を決め、Div との入替え戦では摂南大学を破り、Div へ一年で復帰を決めました。この力の差を埋め、Div へ昇格することを目指し、新チームは来シーズンを目指して12月より始動しました。

最後になりましたが、今シーズンも多くのOBの皆様に応援して頂き、本当にありがとうございました。

ご存知でしょうか？

関西におけるアメリカンフットボールの拠点となってきた「西宮球技場」と「西宮スタジアム」が、半世紀以上にわたった役目を終えようとしています。これは、両施設を所有する阪急電鉄が、今年末で営業を終了する意向を表明したためです。



西宮スタジアム

サッカーワールドカップ（W杯）が開催された「神戸ウイングスタジアム」、昨年五月に陸上第一種公認から外れた「王子陸上競技場」と「ユニバー記念競技場」。この三つの競技場について神戸市が誘致を薦めてきたことから、関西アメリカンフットボール協会は、神戸を活動拠点の一つにすることで事態の打開を図ろうとしています。



神戸ウイングスタジアム

ありがとうございました。

覺田さん（45年金属材料工学科卒）よりビデオカメラを頂きました。本当にありがとうございました。今後のチーム活動に有効に使用させていただきます。



OBの皆さん！
押入れで眠っている、あるいは職場で廃棄する不要なテレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、パソコン、プリンター等はございませんか？もしございましたら、ブルーライナーズに頂けませんか？連絡をお待ちしております。

大学統合について

前回の編集後記でお知らせしました姫路工大、神戸商科大、兵庫県立看護大の統合について、県が以下の内容の方針を打ち出しているようです。

1. 名称
県民・外部の意見を募った上で決定。
2. 本部
大学本部は神戸市内に置く。
3. 学部の構成
工学部は、「電子情報・電気工学科」「機械システム工学科」「応用物質科学科」の3学科に再編。
この内容に対するBlueLinersの動向については引き続き本紙にてお知らせして行きます。

大学統合についての詳細は以下を御覧下さい。
<http://web.pref.hyogo.jp/daigaku/index.html>

新・旧主将よりの挨拶



監督の角栄さんをはじめコーチ、トレーナの鈴木さん、OB・OG、チームに関わってくださったすべてのみなさん一年間本当にありがとうございました。昨年度主将の渡辺です。今年は主将という立場から、これほど自分たちはみなさんに支えられてアムフトをしてるんだと毎日感謝の気持ちでいっぱいでした。そして、選手としてこたえようとリーグ戦に挑みましたが、力及ばず目標を達成することができませんでした。二部の壁というのは思ったよりうすくはないものでした。しかし、今回手応えを感じたのも事実でした。来期以降の実現になりますが、これまでの反省を生

かすことが大事になります。幸い今年一年間まだ学生でいるので昨年までの反省を生かし、チームサポートをするということで恩返しをしていきたいと思います。

昨年に引き続き今年も皆様方のサポートが必要です。どうかこの一年間チームが一致団結し、二部昇格に向けて目標に向かって全力でがんばりますのでご指導・ご声援のほどよろしくをお願いします。



2003年度の主将をやらせて頂くことになりました、関口渉です。監督をはじめコーチ、OB、OG、スタッフのみなさんおつかれさまでした。昨シーズンは毎試合苦戦をしながらリーグ二位になることができました。それも現役以外の協力のおかげだと思います。ありがとうございます。

しかしリーグ二位では二部に行くことはできません。自分が主将になったからには絶対に三部の壁を突破し、チームを二部に昇格させます。今年はチームが若いので去年よりもより一層厳しいとおもいますが活気でのりきっていきます。ご協力をお願いします。

編集後記

おそくなりりましたが、新年あけましておめでとうございませう。昨年もOBのみなさんには多くのサポート、激励を頂き本当にありがとうございました。残念ながら昨シーズンの最終戦では岡山大学戦に格の違いを見せつけられました。まだまだ2部昇格には厚い壁があることを感じた1日でした。自分が卒業してからも今度チームを12年あまり見てきましたが、いろんな面で進歩してきているのは確かです。練習の効率化、装備や設備の充実、最新の知識の吸収などです。自分たちの選手時代はシンプルな練習メニュー、システムで牧歌的にかつひたむきにやっていたんだなと思いついてこします。そして情報には飢えていたけど不思議と迷いはなく（ある意味深く考えてなかったのかも）取り組んでいたことを。しかし合理的かつ効率の良い練習というのはある意味自分たちをとことん追い込む練習を遠ざけることがないでしょうか。

元日の新聞に全日本女子ソフトボール宇津木監督の対談が載っており、そこで監督は厳しい練習があつてこそ試合本番での集中力が発揮できるという、当たり前と言えは当たり前なことを述べていました。オリンピック前の合宿では必ず地獄の長時間ソックが恒例で、やらせる方もやらされる方もお互いはつきりこれは根性練習以外の何ものでもない認識している。しかしこれを乗り切れば、一番で極度の緊張が強いられる場面でも自分はある程度の練習に耐えられたのだという自信が平常心を生み出すことを選手も監督も理解している。とことん追い込むことは何もグラウンドでの練習だけでは無いと思う。システム、戦略、チーム運営などお互いの意見やこだわりをミーティングだけでなく普段の生活の中でどれだけ妥協無く戦わせることが出来るか。試合中よくサイドラインから「気持ちで負けるな」、「気合いだ」、という言葉が聞こえますが、この声で励まされて今までやってきた以上の実力が出るのではなく、これまで本当に努力した者だけがこの言葉に自分自身を奮い立たせることができることを忘れないで欲しい。以上つるさい小言のよつな話ですが新チームの門出に贈る言葉としたい。

(匠)

OLD BLUE CHAIN LETTER

昔の俺、今の俺



昭和 46 年応用化学科卒業の高橋秀年です。卒業後 30 年余を経過し、現在は北九州市小倉にて日本エア・リキード九州支社に在職し、家族を千葉市に残して単身生活を送っています。母校姫路工業大学から我が社には、過去多数卒業生を迎えていましたが、最近は減少傾向にあるようです。また近年学歴を公表しないことから、身内感覚も薄れ、やや寂しさを感じます。来年早々我が社は大阪酸素工業と合併することとなり、慌ただしい年末・正月を迎えそうです。

私の姫工大時代の思い出は、アメカンのヘルメットと共に学生運動の象徴たるヘルメットも思い出されます。特に最近テロ活動が頻発する中、血気盛んな青春思想と過激な行動のエネルギーの使い方を憂慮するものです。

さて、私がアメカン同好会に入会した経緯は、試合を間近に控える中メンバー不足のため、手当たり次第に勧誘する畏にはまってしまったからに他なりません。当時既に演劇部に所属し、姫路短大(当時)の女学生と楽しく稽古に励んでいたものを、1 試合助人参加を約束に大阪大学戦に臨みました。惨敗でした。即席編成ですから、敗戦は当然ですが、やはり敗北感は強烈でした。相手のスピードとパワーに唯圧倒されるばかりでした。そのまま放棄する訳には行かず、正式メンバーとして再練習、再挑戦を目指しました。その後はアメフトと演劇の両刀を使い分けようと、努力しましたが、試合で好成績が出ない悔しさから、アメカンに傾斜し、クォーターバックのポジションを頂き練習に精励した積もりです。

リーグ戦で思い出す一戦は対神戸学院戦です。春の練習試合でラトラルプレイが思うように成功し、私自身もタッチダウンを幾つか決め、大勝しました。しかしながら、その秋のリーグ戦で再び対戦、同プレイが全く通じず惜敗しました。自分ながら相手を軽視し、進歩の無いプレイの組立に切齒扼腕の思いでした。

卒業生として、人生の先輩として、拙文を締め括るなら、年齢を重ねて私が近頃痛感することは『勇氣』の二文字です。仕事をするにしても、学生生活をおくる上でも、夢を追いかける時でも、頭で思い描くものの他人を意識すると萎縮してしまうことが多いものです。特に私自身は『主張・発言する勇氣』と『部下を誉める勇氣』を日頃の銘として、心掛けています。極く容易な銘ですが、社会人として昔風日本人としては最も苦手な毎日です。皆様のご健闘を祈ります。



昭和 63 年金属材料卒業の城領です。

現在は、グローリー工業に勤めています。仕事は技術開発部という部署でファームソフトの開発を担当しています。大学では金属材料を専攻していましたが、会社に入って 1 年程でマイコンのソフト設計の担当になりました。入社当時は、バブル全盛期で誰もが実力以上の評価を受けていたようです。当時、コンピュータのこの字も知らなかったのですが、負けたくないという気持ちで何とかやっています。私の場合、特に就職してどんな仕事をしたいとか、大学で

専攻した知識を活かしたいと考えていなかったのでもいい時代に就職できて運がよかったと思います。今現在は、再来年に発行される予定の（紙幣の）改刷対応の準備で殆ど毎日 12 時前後の帰宅です。唯一の運動は年に数回のゴルフ程度です。昔は、大嫌いだった練習もゴルフだけはマメに練習しています。スコアの方は平均して 100 前後ですが調子のいいときは 90 台前半で回ります。ゴルフを始めた頃は、全力でスウィングして飛距離ばかり考えていました。当然スコアは酷いものでしたが、ここ数年になって飛距離よりも精度を気にするようになり、練習もアプローチが中心でスコアがまとまるようになりました。

現役時代は入部してから 3 年間ラインでした。岩谷君と違い高校時代から大学に入ったらワイドレシーバーで華麗なパスキャッチを夢見て入部しました。ところが、現実には体格の大きい者から順にラインに選ばれていました。4 回生になって漸くディフェンスは LB をやるようになりました。また、リターンチームではリターナーまでやっていました。当時の後輩の方々には迷惑な事だったと思います。いろいろな思い出の中でも、特に、自分が決めたタックルなどはいまでも頭の中ではっきりと光景が浮かびます。卒業後、数年は OB 戦にも顔を出していましたが、最近は、GAORA を見る程度です。

最後になりますが、匠君をはじめ、細かった浜岡君たちが今もスタッフとして活躍してくれているようで感心します。また、田中角栄君の試合の報告を楽しみにしています。今年は全勝で迎えた最終戦（岡大）に敗れて残念でしたね。ここ数年の戦績は自分達の時代からは想像できないくらいです。長年の目標である 2 部への昇格を期待します。また、ケガにはくれぐれも注意して下さい。

今回は、現役時代に勉強の方でも大変お世話になった、橋本先輩にお願いしたいと思います。橋本先輩よろしくお願いします。

追伸、岩谷君へ、毎年、来年こそ OB 戦へ出席しようと言いつけていますが、これを機会に実現させましょう。